

事例報告（看護実践）確認シート

この確認シートは、事例報告提出に際し作成した事例報告が「事例報告の書き方」の規定に沿っているか、記述内容に不備はないか確認するためのシートです。このシートで不備のある箇所については「事例報告の書き方」を参照し、修正後に提出してください。

※確認シートの提出は不要です

【テーマ】

- 事例の対象者や、実践した看護の具体的内容が分かる

【はじめに】

- 事例報告のテーマに取り組んだ理由、報告する内容について、簡潔に（5行程度）述べている
- 倫理的配慮について、記載している

【事例紹介】

- テーマに絞ってアセスメントに必要な情報を記載している
- 体言止めを用いていない（主語と述語で構成された文章になっている）
- イニシャル、年齢、職業、入院日、病院名、地域など、個人が特定されるような情報が記載されていない

【看護の実際：アセスメント】

- 患者・家族の状況について、事例紹介で記載した情報をもとに、解釈、分析、判断、推論している
- 看護上の問題を導き出すアセスメントになっている
- 情報の羅列になっていない

【看護の実際：看護上の問題】

- アセスメントから、問題を明確化している
- 患者・家族が解決する必要がある問題である（患者・家族の状態を示している）
- 疾病に対する患者・家族の反応として明らかにされた問題である
- 問題解決に必要な活動が、法的に看護の範囲内で実践できる

【看護の実際：看護目標】

- 患者・家族が主語になっている
- アセスメントから導かれた目標である
- 現実的で、達成可能な目標である
- 誰もが理解できる目標である
- 測定できる目標である
- 行動レベルで表現している目標である

【看護の実際：看護計画】

- 現実的、具体的、実施可能な計画である
- 5W1H (When, Where, Who, What, Why, How) を明確にし、具体的に記載している
- テーマに関わる計画である（テーマに関わらない計画が書かれていない）

【看護の実際：実施】

- 立案した看護計画に沿って実施した内容とその評価（看護目標の達成度）を記載している
- 看護計画に挙げていない実践を記載していない
- 施した看護に対する患者・家族の反応や変化など、患者・家族の状況を記載している
- 看護師と患者・家族の両者について、記載している

【考察】

- 実施した看護の意味、実施した看護による患者・家族の変化について、自分の解釈や考えについて引用文献を用いながら述べている
(実践に記載していない内容について述べていない)
- 引用するだけでなく、引用文献から考えられる事柄を記述している
- 感想文、反省文になっていない
- 課題が残った場合、今後の展望を示している
- 事例報告が、今後の看護にどのように役に立つのか述べている
- 直接引用箇所が大半を占めていない
- 引用箇所を示している

【おわりに】

- 事例報告の内容を簡潔にまとめている
- 一般的または教科書的な内容になっていない
- 明らかになった課題を簡潔に記載している
- 新たな主張や事実を記載していない
- 感想文、反省文になっていない

【引用文献】

- 最新の日本腎不全看護学会誌の投稿規定に沿って記載している
- 引用した文献や情報（HPを含む）はすべて記載している
- 参考文献を記載していない

【全体】

- 全体を通して、一貫性のある記述である
- 個人が特定される情報を記載していない
- 剽窃、盗用していない
- 規定の文字数（4,000～6,000字）である。文字数はテーマから引用文献までとし、図表は文字数に含まない